

ドクターからの 健康アドバイス



市立角館総合病院
看護部長 藤村 康子

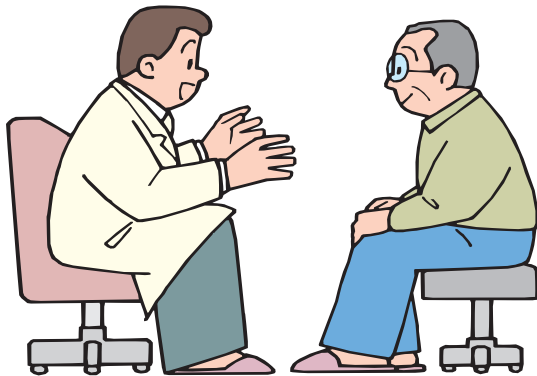
「3つのお願い」

今年の冬はことのほか長く感じられそうです。例年がない大雪で年始は雪との戦いでした。皆さまはいかがおすごしでしょうか。日頃市立角館総合病院へのご協力には、大変感謝いたしております。

患者様のことを一番に考えて看護をしていきたい、地域に根ざした創造性のある良い病院を作りたい、病院は地域の人たちの健康や命を守るためにある、地域の人々に育ててもらい良い病院にしていきたい、健康増進のためにも病院を活用していただきたいと願っております。

良い病院にしていくためには、病院の職員だけではなく、地域の人々の声、厳しい第三者の目が必要だと思っております。皆さまからの提言は宝物。苦言、提案、助言、何なりと声にして、病院に設置しておりますご意見箱に入れてください。

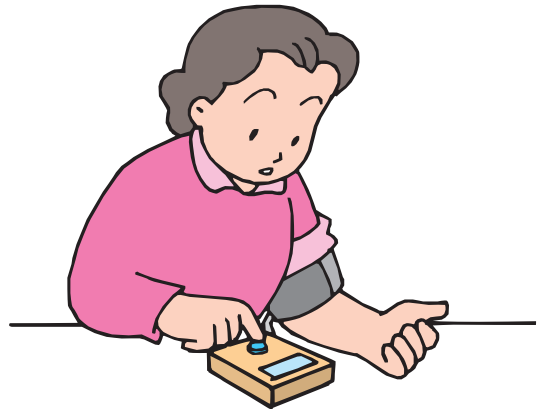
患者様、家族、病院を訪れる全ての人々の声を大切に受け止めたいと考えています。



病気は早期発見、早期治療が大切です。市の検診、職場の検診、節目節目の検診はできるだけ受けるようにいたしましょう。

しかしせっかく検診を受けて、要精査、医療機関の受診の結果を受けても放置している方がおります。忙しい・・・、たいしたことはないだろう・・・、自覚症状がないから自分は大丈夫・・・と思うことがあるのではないのでしょうか。

自覚症状が出てからでは遅い病気もたくさんあります。検診で指摘を受けた時は必ず受診してください。そして心配のないことを確認してください。早期発見、早期治療に努めていただきたいと思います。



病気を治療する、ケアするのは病院職員だけでは不十分です。患者様にも協力していただき、ともに病気と向き合ってほしいと思っています。

自分の身体を一番よく知っているのは、自分なのです。自分の命は自分が主人公なのです。

自覚症状や病歴、不安に思っていることはメモをして受診してください。どうしたら良い方向に向かうか、どうしたら治すことができるか、病気について一緒に考えましょう。一人で悩まずどうか相談してください。

そうした中にも、不確実なことや、限界があることも事実です・・・。共に自分の言葉で表現することによって、自ら治療について決定していくことができると思います。

「自分の健康は自分で守る」このことを心がけ、今年も健康に留意して、充実した日々をお過ごしになられますようお願いいたします。

